

「防災集団移転」の未来を描く。
第6回 みんなで考える防災まちづくりを開催！

令和8年2月19日（木）私たちの町の将来を守る「防災集団移転」について、国内外の専門家や大学生を招いた研究発表会が行われました。会場では、これまでの調査結果や、世界・日本各地の新しい「川との付き合い方」が共有されました。

今回の検討会では、以下の5つのテーマで発表が行われました。

- ◆防災集団移転の実施における住民意識：茨城大学 人文社会科学部 4名
～昨夏のアンケート・インタビュー調査から見た、みんなの「本音」を共有～
- ◆発災前防災集団移転の実態と課題：明海大学大学院 不動産学研究科 五十嵐実菜
～移転をチャンスに変えた、他自治体の工夫を紹介～
- ◆住民主体の事前防災：マサチューセッツ工科大学アーバンリスクラボ 北村拓海、黒崎亜美
～オンライン技術を活用した、世界最先端の備え～
- ◆河川のポテンシャルと水辺での暮らし：京都大学大学院 崎山賢人
～川を「守る」だけでなく「楽しむ」空間づくり～
- ◆洪水からの避難シミュレーション：国土交通省国土技術政策総合研究所 木内望
～CG映像で、洪水時のリスクをリアルに実感～



茨城大学による研究発表の様子
「若い世代が、私たちの町のデータを
一生懸命分析してくれました。」



崎山さんによる発表の様子
「川沿いの新しい活用法。海外の
おしゃれな事例に驚きの声も」

【住民の皆さまへ】「こんな川辺になったらいいな」「移転についてここが不安」といったご意見はありませんか？役場窓口で随時受付中です。

■お問い合わせ先■

大洗町役場 都市建設課 都市施設係

電話番号:029-267-5156 FAX:029-266-3577

Mail : toshiken@town.oarai.lg.jp

成果発表会のご報告

成果発表会の中で住民の皆さまからいただいた大切な意見をまとめました。

移転決定時の住民の声

移転を決めた理由

- ・大雨や川の氾濫が心配だったから
- ・以前から移転は検討していたが、個人で移転するのは難しいと思っていたから
- ・移転先候補地が駅や店舗に近く、生活しやすい環境だから

移転に対する不安

- ・移転先で順応できるか心配
- ・近隣住民との付き合いが心配
- ・いつ移転できるのかわからない
- ・移転先を探すお手伝いをしてほしい



懇親会を通しての参加者の声

懇親会を通しての声

- ・私たちの意見が丁寧に反映されていた
- ・移転後の跡地利用の検討をしていきたい
- ・大学と地域の連携の意義がよかった
- ・難しい話を分かりやすく伝えようとする努力がみられた

当日のアンケートより

- ・住民も一緒になってもっと自由に話し合える場を増やしてほしい
- ・今後の具体的な計画が知りたい

今後の課題

- ・誰もが意見しやすい「座談会形式」の導入
- ・住民が主体となって語り合える場の設営
- ・移転元地の活用方法の継続的な検討

発表の中では、移転後も「移転元の地域とのつながり」を大切にしたいという声が多く寄せられました。今後は、元地の活用方法についても、皆さまのお力を借りながら検討を深めていく必要があります。

次回の第7回「みんなで考える防災まちづくり」は6月頃の開催を予定しています。皆さま一人ひとりの声が、この町の未来を創ります。ご参加を心よりお待ちしております。